

秋田銀線細工

取扱店

(株)竹谷本店

<http://takeyahonten.sakura.ne.jp/>

本店 // 〒010-0001 秋田県秋田市中通 2-4-3 TEL.018-835-1331

トピコ店・秋田駅 // 〒0010-0001 秋田県秋田市中通 7-2-1 TEL.018-889-3579

銀線工房しんどう

〒010-0042 秋田県秋田市桜 4-1-13 TEL.018-834-7918

銀線細工すとう

〒013-0064 秋田県横手市赤坂字富ヶ沢 62-46 TEL.0182-33-8845

房工房

〒019-0529 秋田県横手市十文字町字海道下 68-31 TEL.090-4316-9433

秋田空港ターミナルビル

〒010-1211 秋田県秋田市雄和椿川字山籠 49 TEL.018-886-3367

あきた県産品プラザ

〒010-0001 秋田県秋田市中通 2-3-8 アトリオンB1F TEL.018-836-7830

お問い合わせ／秋田商工会議所 企画振興課

〒010-0923 秋田市旭北錦町 1-47 TEL.018-866-6679

MAIL.shinko@akitacci.or.jp

【History 参考文献】

秋田県教育委員会(1983)「秋田の工芸技術 秋田県文化財調査報告書 第105集」

秋田県教育委員会(2007)「あきたの工芸 秋田の宝・おらの宝 一地域の文化遺産発見一事業」

秋田経済研究所「あきた経済23号・伝統工芸「秋田銀線細工」」



AKITA CHAMBER OF COMMERCE AND INDUSTRY

J a p a n
Q u a l i t y
0 . 2

History 1

「秋田の金銀細工」

初代秋田藩主・佐竹義宣公が慶長7年(1602)、常陸から秋田に移封された時、金銀細工師(白銀師)が随従してきたことが始まりと言われています。

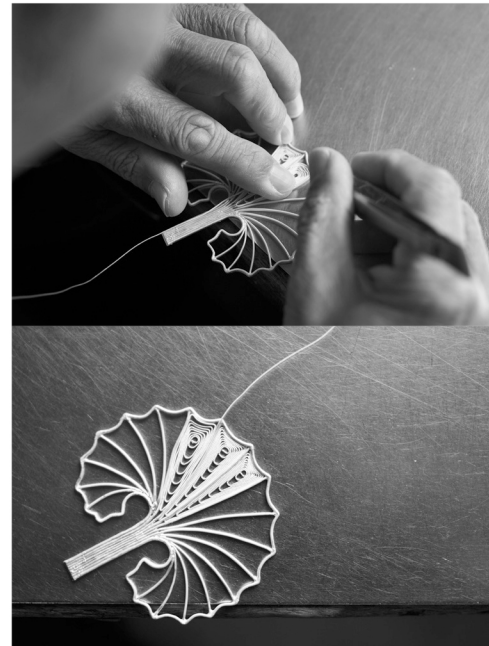


院内銀山史跡保存顕彰会 資料提供

History 3

日本最大の銀産出量「銀の都・秋田」

江戸時代、秋田藩では院内・阿仁の両鉱山で良質な金・銀が産出されたことから、歴代藩主の保護・奨励の下に、武具・キセル・かんざし等が作られていました。



History 2

「銀線細工の技法と平戸(長崎)の関係」

銀線細工の技法は、平戸(長崎)の貿易港を通じた、ヨーロッパ、東南アジアとの銀製品の取引から技法が伝来したと考えられています。

銀線をうず巻き状にしたものを今でも「平戸」と呼んでおり、秋田藩と平戸藩の江戸屋敷が近接し、親交があったとも言われています。

History 4

「金銀細工から銀線細工へ」

明治時代の職人町の大火や、戦時中のぜいたく禁止令などの逆境の中、優れた指導者のもと優秀な技術者が多数現れ、秋田の金銀細工は一大飛躍をとげ、全国でもゆるぎない名声を博するに至りました。戦後は、銀線細工職人を多数輩出し、洋風のデザインも多く生まれ、特産品としても全国・海外で脚光を浴びています。